

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：長崎

グループ： 2班

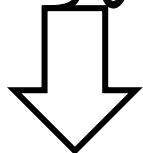
2022.8.20

# オンラインによる学校の未来

# 私たちが考える学校

## 学校とは

いろいろな価値観を持つ人が集まる



- ・一緒に授業を受けて能力を高める場所
- ・お互いに切磋琢磨する場所

その中で他者とのコミュニケーション能力も磨かれていく

# 学校のあり方の変化

新型コロナウイルスの流行により  
学校のあり方が変化してきており  
オンライン授業が余儀なくされている。



しかし、オンライン授業はメリットもあるが  
デメリットもある。

# 現在のオンライン授業

## メリット

- ・ 家から出る必要がない
- ・ 手軽に連絡を取り合える
- ・ 移動時間が不要に
- ・ 距離を問わない

## デメリット

- ・ 対面で遊べない...
- ・ 運動不足になる
- ・ 集中力が続かない
- ・ モチベーション維持が大変
- ・ 遅延の発生



まだ**進化**できる

# 理想のオンライン

壁を越えてコミュニケーションを！

言語の壁

自動翻訳

空間の壁

メタバース

価値の壁

レンタルスペース

感覚の壁

五感の再現

# 理想とする学校のあり方（1）

言葉の壁

文化の壁

初対面の壁

男女の壁

年齢の壁

様々な壁

を超えてコミュニケーションが取れるような場

## 理想とする学校のあり方（2）

このような場に学校がなれば、**海外の方**や**さまざまな価値観**を持った人と**コミュニケーション**をとれるようになり、

**自分のコミュニケーション能力**を高められ、**学校の可能性**を広げていくことができる

# ポイント1 学校とは何か（メモ）

- ・友人とのコミュニケーション
- ・価値観の違いの中で、互いを尊重する。社会性
- ・社会でのコミュニケーションを学ぶ
- ・能力向上(学習、運動など)
- ・探求心。ライバルとの切磋琢磨。

## コミュニケーションを学ぶ理由

- ・自分以外の世界を共有。個性。視野の拡大
- ・仕事のため、自分の将来のため
- ・情報交換。わからないことをわかるように
- ・トラブル防止



# ポイント2 オンラインのメリットとデメリット

## メリット

- ・ 自宅待機時に家で授業を受けることができる
- ・ 家から出なくても会話ができる
- ・ 感染リスクの減少。連絡の手軽さ
- ・ 距離を問わない。移動時間等を削る。投票が数字に出る

## デメリット

- ・ 接続不安。機材等準備の手間。遅延によるコミュニケーションエラー
- ・ 会えない。対面で活動できない
- ・ 運動不足になる。PCの扱いに慣れていない人は不利。
- ・ 集中力の欠如。モチベーション維持に苦勞
- ・ 機器が高価

## ポイント3 理想のオンライン

- ・ ARの活用
- ・ 端末の進化が必須→VRは現状高い。本当に隣にいるような技術
- ・ 直感的操作可能なソフトウェア
- ・ 会話ツールとしてのハードウェア
- ・ メタバースによる授業
- ・ 場所も問わない。いつでもどこでも
- ・ PCの進化
- ・ 安価で機器のレンタルスペース。図書館みたいな？オキュラスなど
- ・ コンピュータによる食事。五感の再現。例)市販の肉が高級ステーキに感じる
- ・

## ポイント4 高校生が期待するコミュニケーションの未来

- ・ オンラインと対面の住み分け。状況に応じたコミュニケーションの取り方
- ・ 自動翻訳。言語の壁を越えてコミュニケーション
- ・ 自分でオンラインと対面を判断できる。
- ・ 初対面の壁、文化の壁、男女の壁、世代の壁
- ・ 海外

文化の壁・・・日本では許されても外国ではそれはタブーとされることもある